

がん ～定期検診を受けましょう～

がんとは

がんは日本で、死亡の原因の多くを占める病気です。病気が進むと体のあちこちにがんが転移しますが、大きくなり過ぎたり広がり過ぎたりすると取り除くことができなくなります。いわゆる手遅れです。

しかし、がんがあちこちに散らばる前に発見し、これを取り除けば、がんは治ります。がんになるのを防ぐ有効な予防法が無い現在、がんに打ち勝つには早いうちに見付け、取り除くしか方法はありません。

がんに対する治療

がんが発生した場所にとどまっている場合、あるいは転移が近くにとどまっている場合は、完全に取り除くことができます。

治療法には、全身麻酔をかけてがんを周りの組織を含めて大きく取り除く外科手術、内視鏡（カメラ）による切除、特殊な針を用い

て焼き切る方法、薬と放射線でがんを殺す方法などがあります。どの方法を用いて治療するかは、がんの種類と病気の進み方によって違います。一般に、早期に見付けられたがんの方が簡単な治療法で治すことができます。

「手遅れです」にならないために

いろいろな種類のがんがあるので、がんが大きくなることによって生じる症状は一つではありません。例えば、食道がんでは胸の痛みや食事がのどを通らない、胃がんではおなかの痛みやごはんが食べられない、肺がんでは胸の痛みやしつこいせき、呼吸困難などがあります。しかし、痛みなどの症状が出るといことはがんが大きくなっていたり、体のあちこちに散らばっていたりすることを示しており、がんを完全に取り除くための治療ができなくなっている場合もあるのです。

従って、治るがんを見付けるためには症状が出る前に検査をする必要があります。

定期検診を受けましょう

症状が出る前に検査を受ければ、治る可能性の高いがんが発見できます。定期検診は症状が無いので医者に行く必要が無いと思っっている人のために毎年するものです。

廿日市市では胃がん、大腸がん、肺がん、子宮けい部がん、乳がん（視触診＋マンモグラフィ）に対する定期検診が行われています。詳しくは、廿日市市保健センターや各支所に問い合わせてください。

すでに気になる症状がある人は直ちに医療機関で受診してください。



佐伯地区医師会
八幡 浩

なるほど!! 健康講座

問合せ 廿日市市保健センター ☎②1610